

### （1）地方創生に向けた基本的な考え

第1期「鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）は、人口減少による地域経済の停滞が更なる人口流出を招く負の連鎖に陥らないように、鹿島ならではの特色を活かしたまちづくりを推進するため、2015年度（平成27年度）から2020年度（令和2年度）を目標年度として策定しました。

総合戦略では、「しごとづくり」・「ひとづくり」・「まちづくり」の好循環が機能することにより、「住みやすく暮らしやすいまち」の実現につながり、人口減少に歯止めがかかっていくと考え、人口減少対策に特化した地方創生の施策・事業に取り組んできました。

第2期「総合戦略」は、第1期の4つの基本目標を継承し、更に地方創生を発展させるため、各分野に横断的に関連する目標を追加し、地域資源の積極的な活用を図り、多様な地方創生の取組みを推進していきます。

**目標①** 鹿島の「ものづくり」をさらに磨き上げて、鹿島ならではのしごとを生み出す

**目標②** 定住促進と交流人口の拡大

**目標③** 若者の定住を促し、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりの推進

**目標④** 安全・安心の確かな暮らしを営む、ずっと暮らし続けたいまちの実現

**横断的な目標①** みんなが活躍できる「まちづくり」を推進する

- CSO※団体への支援
- 地域における担い手の育成、支援
- 多文化共生の推進
- 男女共同参画社会の推進

**横断的な目標②** 新しい時代の流れを「まちづくり」に活かす

- Society5.0※の推進
- 持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた取組み

## (2) 総合戦略と総合計画との関係

総合戦略は、総合計画を形成する各分野において、「しごとづくり」・「ひとづくり」・「まちづくり」に特化した施策・事業に取り組むものです。総合計画と一体的に策定し、相互に整合性を持たせるため、該当する主要施策には **まち・ひと・しごと** を表示しています。

## (3) 計画期間

総合戦略は、鹿島市総合計画と相互に整合性を持たせたものであるため、総合計画と同じ2021年度(令和3年度)から2025年度(令和7年度)を計画期間とします。ただし、社会情勢の変化など必要に応じて見直しや検討を行います。

